

## 令和7年度 牟岐中学校

### よりよい学校づくりのために(アンケート結果)

よりよい学校づくりをめざして、1年間の牟岐中学校の成果と課題を明らかにするために、アンケート方式で学校評価を実施しました。その結果がまとまりましたのでご報告いたします。保護者のみなさまにはアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

#### 1 調査の概要

##### (1)回答者

生徒 34名(1年－14名 2年－8名 3年－12名)

保護者 34名

教職員 13名

##### (2)回答方式

生徒、保護者、教職員でほぼ同じ内容の質問項目になるようにアンケートを作成しました。それぞれの質問項目に対して4段階で回答していただき、「そう思う」「ほぼそう思う」を肯定的意見、「あまりそう思わない」「思わない」を否定的意見として、調査結果をグラフ化しました。

(肯定的意見)

A:そう思う

B:ほぼそう思う

(否定的意見)

C:あまり思わない

D:思わない

##### (3)考察

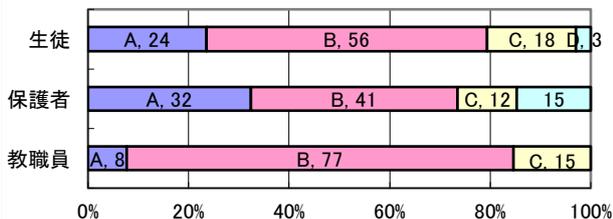
調査結果をもとに、教職員全員で検討を重ね、来年度に生かしていきたいと考えています。また、みなさま方からご意見・ご要望をいただき、学校改善につなげていきたいと考えています。



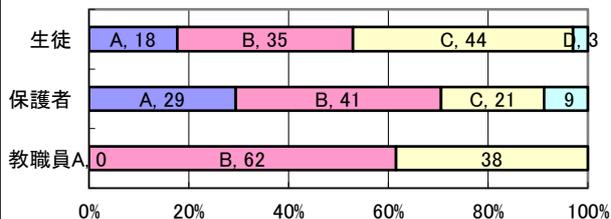
(自分・子ども・生徒について)

凡例 A: そう思う B: ほぼそう思う C: あまり思わない D: 思わない

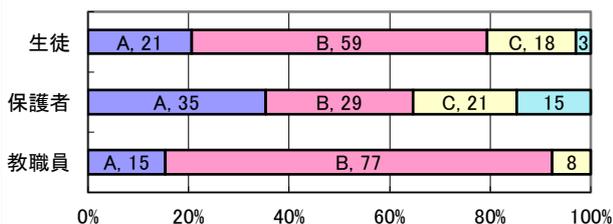
1-①学校へ行くのが楽しい



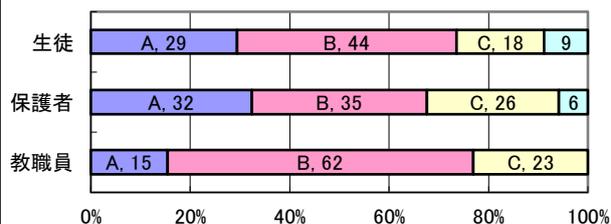
1-②目標を持って生活を送っている



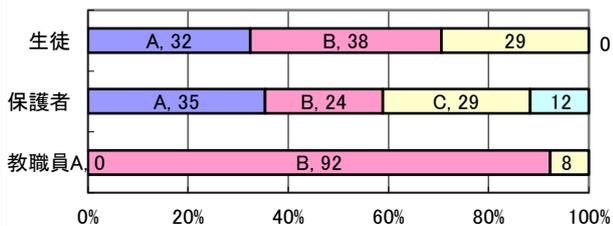
1-③授業に真面目に取り組んでいる



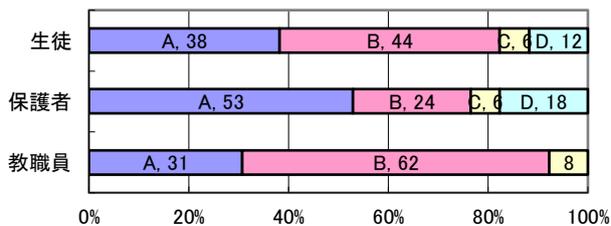
1-④あいさつ・掃除がきちんとできている



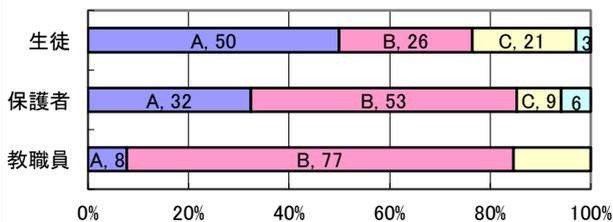
1-⑤悩みや困ったことを、気軽に相談できる



1-⑥部活動に意欲的に取り組んでいる



1-⑦牟岐中学生でよかったと思う



(学校全体について)

凡例

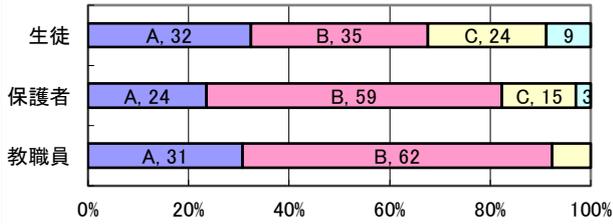
A: そう思う

B: ほぼそう思う

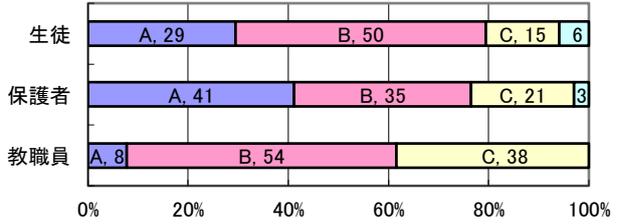
C: あまり思わない

D: 思わない

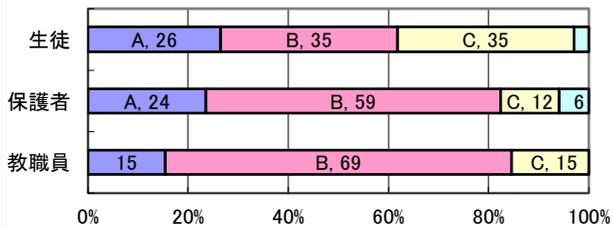
2-① 牟岐中学校は魅力的である



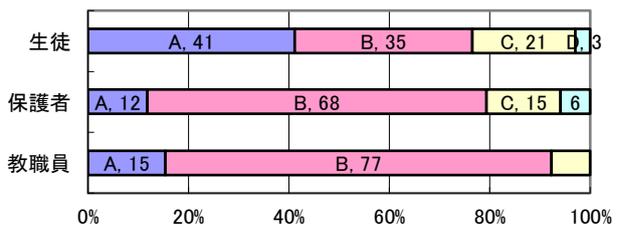
2-② 地域や学校であいさつができています



2-③ 時間や交通ルール等のきまりを守っている



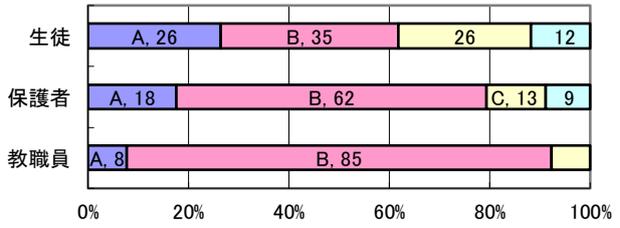
2-④ お互いの気持ちを大切にしている



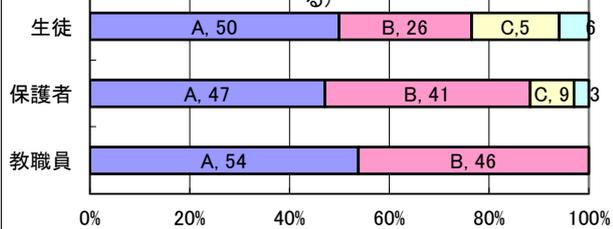
2-⑤ いじめを許さない心が育っている



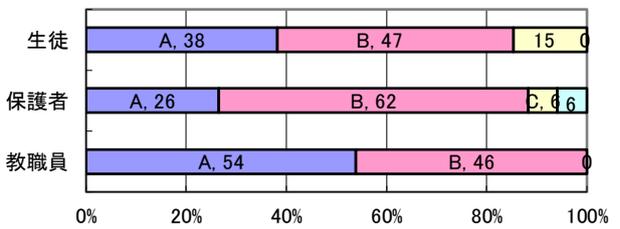
2-⑥ わかりやすい授業が多い



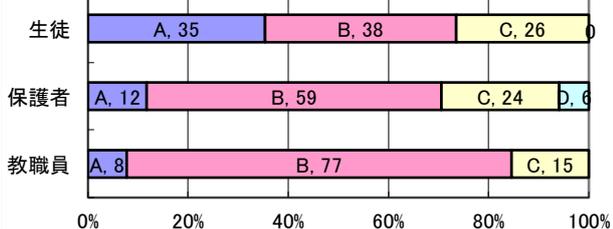
2-⑦ 先生は、部活動を熱心に指導してくれる(している)



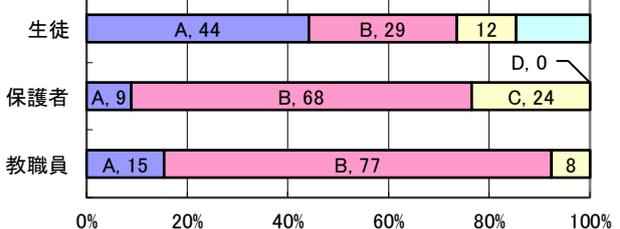
2-⑧ 学校と保護者・家庭の連絡がとれている



2-⑨ 保・小・中一貫教育が、教育的効果をあげている



2-⑩ ICTを活用した効果的な授業が行われている



▼ 肯定的な回答数の割合(%) (A: そう思う+B: ほぼそう思う)

	生徒			保護者			教職員		
	5年度	6年度	本年度	5年度	6年度	本年度	5年度	6年度	本年度
1-①学校へ行くのが楽しい	67	64	79	70	73	74	87	75	85
1-②目標を持って学校生活を送っている	56	60	53	55	52	71	80	50	62
1-③授業に真面目に取り組んでいる	68	70	79	72	72	65	93	56	92
1-④あいさつ・掃除がきちんとできている	81	64	74	68	72	68	80	38	77
1-⑤悩みや困ったことを、気軽に友達に相談できる	88	81	71	67	82	59	93	94	92
1-⑥部活動に意欲的に取り組んでいる	58	68	82	69	76	76	93	88	92
1-⑦牟岐中学生でよかったと思う	77	72	76	72	89	85	100	94	85
	5年度	6年度	本年度	5年度	6年度	本年度	5年度	6年度	本年度
2-①牟岐中学校は、魅力的である	72	64	68	60	73	82	100	100	92
2-②地域や学校であいさつができている	82	66	79	65	67	76	67	50	62
2-③時間や交通ルール等のきまりを守っている	84	66	62	82	73	82	80	81	85
2-④お互いの気持ちを大切にしている	84	81	76	76	77	79	100	88	92
2-⑤いじめを許さない心が育っている	77	74	74	60	60	71	100	100	100
2-⑥わかりやすい授業が多い	74	77	62	76	88	79	100	100	92
2-⑦先生は、部活動を熱心に指導してくれる	84	87	76	84	98	88	100	100	100
2-⑧学校と保護者・家庭の連絡がとれている	86	91	85	83	93	88	93	100	100
2-⑨保・小・中一貫教育が教育的効果をあげている	68	72	74	61	64	71	87	75	85
2-⑩ICTを利用した効果的な授業が行われている	95	89	74	77	74	76	91	81	92

※  は、過去3年間で最も高い

## 1 調査結果

### (1)《生徒・自分・こどもについて》

#### 【1-①】学校へ行くのが楽しい。

生徒の肯定率が67%→64%→79%と、本年度に大幅に伸びています。教職員(85%)や保護者(74%)も高水準を維持しており、学校の活性化が伺える結果となりました。今後も、活動や行事を工夫し、学校生活がより有意義なものになるように、そして豊かな人間性や個性を育て、充実した楽しい日々を過ごせる学校づくりに教職員一丸となって取り組んでいきます。

#### 【1-②】目標を持って学校生活を送っている。

本年度、生徒が53%と3年間で最低を記録し、これは全項目中でも最低の結果となりました。生徒の目標設定を支援するため、キャリア教育を充実し、自分の将来について考え行動できる機会を増やしていきます。そして、単なる目標設定に留まらず、面談体制を強化し、教職員が伴走者として生徒の取り組みをサポートしていきます。

#### 【1-③】授業に真面目に取り組んでいる。

教職員評価が5年度(93%)から6年度(56%)に激減した後、本年度(92%)に急回復しました。本年度、授業の準備や授業に取り組む姿勢に力を入れた成果と考えられます。また、生徒(79%)の上昇傾向とも概ね連動しています。今後も教員自らが授業改善に臨み、生徒が意欲的に取り組むことができる授業を実践していきます。

#### 【1-④】あいさつ・掃除がきちんとできている。

教職員の評価が6年度(38%)に極端に落ち込みましたが、本年度は77%まで回復しました。本年度は、特にあいさつ・掃除をしっかりすることを学校全体で取り組んできました。生徒(74%)の評価にも上昇傾向が見られました。今年度の取り組みをさらに改良し、日々の教育活動の中で、あいさつや清掃など、凡事徹底できる生徒の育成を推進していきます。

#### 【1-⑤】悩みや困ったことを、気軽に友達に相談している。

生徒は88%→81%→71%と継続的に低下しており、保護者(59%)も低水準になっています。教職員の評価(92%)との認識の差が見られます。この認識の差を埋めるために、これまで以上に生徒の様子をよく見ながら関わりを深め、内面的な心理支援の質的な見直しを図ります。そして、他を思いやり、何でも相談し支え合える集団づくりを実践していきます。

#### 【1-⑥】部活動に意欲的に取り組んでいる。

生徒は58%→68%→82%と飛躍的に向上しています。また、保護者と教職員でも高い評価を得ています。生徒数の減少が進み、各部とも少ない人数での活動になりますが、合同チームや拠点校を利用して、一人一人が目標を持って取り組める環境を継続していきます。そして、生徒と教職員が日々の練習に励み、部活動の充実に努め学校の活性化につなげたいと思います。

#### 【1-⑦】牟岐中学生でよかったと思う(思っている)。

教職員は100%(5年度)から85%(本年度)へ下降傾向にありますが、生徒(76%)と保護者(85%)は安定的な満足度を示しています。これからも、郷土や牟岐中学校を誇りに思い地域との関わりを大切にしながら、夢と志を持ったたくましい子どもの育成や将来の地域を担う生徒の育成に努めていきます。

### (2)《学校全体について》

#### 【2-①】牟岐中学校は、魅力的な学校である。

保護者の評価が60%→73%→82%と右肩上がりに上昇している点はこれまでの学校教育活動の成果であると考えられます。これからも保・小・中が連携を深め、生徒の発達段階に応じて、地域の豊かな人材・資源を活かした特色ある教育活動を推進し、一層魅力的な学校づくりをめざしていきます。

**【2-②】牟岐中学生は、地域や学校であいさつができています。**

教職員評価が50%(6年度)から62%(本年度)へ回復傾向にありますが、全項目中で依然として低い水準です。学校では生徒会が中心となって、元気なあいさつが広がるように、いろいろと工夫してあいさつ運動を行って来ています。今後もさらにあいさつの重要性を幅広く周知して、学校全体で取り組んでいきたいと考えています。

**【2-③】牟岐中学生は、時間や交通ルール等のきまりを守っている。**

生徒の肯定率が84%(5年度)から62%(本年度)へ22ポイントも低下しており、教職員(85%)との認識の差が開いています。今後は、これまで以上に規範意識や公共のルールを遵守することの大切さを伝え、しっかりと見守っていきます。また、家庭や関係機関の協力も得ながら指導していきたいと考えています。

**【2-④】牟岐中学生は、お互いの気持ちを大切にしている。**

生徒は84%→81%→76%と微減傾向にあり、対人関係の質に対する懸念が見られます。今後も道徳や人権学習を大切にし、生徒のコミュニケーション形成能力を育て、自分の思いや意見を上手に伝えたり、相手の気持ちを想像し理解できるよう教育活動全体で育てていきます。

**【2-⑤】牟岐中学生は、いじめを許さない心が育っている。**

教職員は3年連続100%の極めて高い自己評価ですが、生徒(74%)と保護者(71%)の評価とは25ポイント以上の開きがあります。日々の教育活動を通して、いじめは犯罪であり、絶対に許されない行為であるということを継続して指導していくとともに、即時指導を徹底し、生徒の心に寄り添い支える取り組みを実践していきます。

**【2-⑥】わかりやすい授業が多い。(展開されている。)**

生徒の評価が77%(6年度)から62%(本年度)へ15ポイントの低下に対して、教職員が92%という高評価で対照的な結果となりました。今後は、教職員が指導したことに満足するのではなく、生徒が「わかった・できた」と実感したかを確認する振り返りの場面を設けるなど、学習者である生徒の視点を大切にしたい授業改善を進めていきます。

**【2-⑦】教員は、部活動を熱心に指導してくれる。(している。)**

保護者(88%)、教職員(100%)ともに高評価で、生徒も76%と良好ですが、5年度の84%からはやや低下しています。今後も教員が情熱を持って指導し、生徒や保護者と信頼関係を築きながら、共に成長していくことをめざして活動していきます。また、拠点校や合同チームの活動についても、しっかりと目標をたてて練習に励んでいきます。

**【2-⑧】学校と保護者・地域の連携がとれている。**

教職員が93%(5年度)から100%(6年度・本年度)へ到達し、保護者も88%と高水準でした。学校と保護者がしっかり連携し、生徒を見守ることができていると考えられます。今後もすぐるやホームページを活用し、教育活動の情報提供・収集に努めていきますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

**【2-⑨】保・小・中一貫教育が教育的効果をあげている。**

生徒、保護者、教職員ともに上昇傾向(生徒74%、保護者71%、教職員85%)にあり、市宇ヶ丘学園での学びへの理解が進んでいると考えられます。中学生が市宇ヶ丘学園のよきリーダーとして活躍できるよう、来年度も「夢と志を持ったたくましい子どもの育成」を目標に保・小・中がさらに連携し、教育効果を実感できるような取組を推進していきます。

**【2-⑩】ICTを利用した効果的な授業が行われている。**

生徒の評価が95%→89%→74%と大幅な下降となった反面、教職員は92%と自信を持っており、認識のズレが顕著に現れています。ICT機器はこれからの社会に生きる生徒たちには必要不可欠なツールであり、その効果的な活用が求められています。ICT活用が手段の目的化に陥ることなく、生徒の知的好奇心や理解を促進できるように研修を重ね、よりわかりやすい授業のため、活用を進めていきます。